



交付運用報告書

# SOMPO外国株式アクティブ バリューファンド（リスク抑制型）

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2019年11月6日～2020年11月5日

第4期 決算日：2020年11月5日

## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、主として日本を除く世界各国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第4期末 2020.11.5

基準価額 12,545円

純資産総額 50百万円

騰落率※  $\Delta 6.8\%$

期中分配金合計 0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

### ▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>  
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



### SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル

お問い合わせ先：クライアントサービス第二部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

# 運用経過

## ● 基準価額の推移



基準価額の推移

第3期末  
2019.11.5

第4期末  
2020.11.5

第4期首

騰落率

第4期末

基準価額  
13,459円

△6.8%  
( 分配金再投資 )  
( 基準価額ベース )

基準価額  
12,545円  
( 期中分配金 )  
( 合計0円 )

- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (MSCIコクサイ インデックス (配当込み)) の推移は、2019年11月5日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

## ● 基準価額の主な変動要因

### SOMPO外国株式アクティブバリューファンド（リスク抑制型）

当期は、投資しているSOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンドが下落したことにより、当ファンドの基準価額も下落しました。

### SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

期中の騰落率は-5.8%となりました。保有外貨建資産の通貨が概ね対円で下落したことや、ファンドで保有する株式の価格の下落がマイナスに寄与しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド    マザーファンド

## ● 1万口当たりの費用明細

項目	第4期 2019.11.6~2020.11.5		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	156円	1.243%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は12,572円です。
( 投信会社 )	( 69 )	( 0.550 )	ファンドの運用の対価
( 販売会社 )	( 83 )	( 0.660 )	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
( 受託会社 )	( 4 )	( 0.033 )	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	17	0.138	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株式 )	( 16 )	( 0.129 )	
( 投資信託証券 )	( 1 )	( 0.009 )	
(c) 有価証券取引税	4	0.032	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株式 )	( 4 )	( 0.032 )	
( 投資信託証券 )	( 0 )	( 0.001 )	
(d) その他費用	29	0.229	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
( 保管費用 )	( 27 )	( 0.214 )	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
( 監査費用 )	( 2 )	( 0.014 )	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
( その他 )	( 0 )	( 0.001 )	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	206	1.642	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

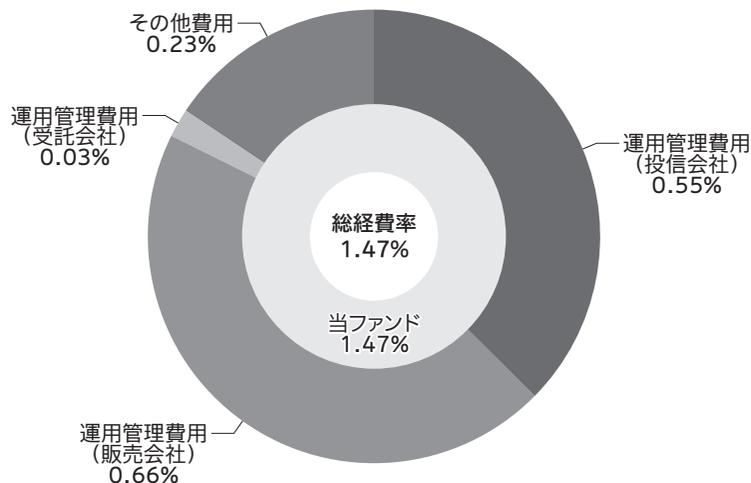
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.47%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ● 最近5年間の基準価額等の推移 2015.11.5～2020.11.5



- 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (MSCIコクサイ インデックス (配当込み)) の推移は、設定時の基準価額 (10,000円) をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金 (税引前) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

決算日	2016.10.25 設定時	2017.11.6 決算日	2018.11.5 決算日	2019.11.5 決算日	2020.11.5 決算日
基準価額 (円)	10,000	12,410	12,531	13,459	12,545
期中分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	24.1	1.0	7.4	△ 6.8
ベンチマーク騰落率 (%)	—	34.8	1.6	9.9	5.1
純資産総額 (百万円)	100	138	158	186	50

- ベンチマークは、MSCIコクサイ インデックス (配当込み) です。

指数に関する詳細は17ページをご参照ください。

## ● 投資環境

### ○米国株式市場

米国株式市場は上昇しました。

期初は、米中貿易戦争の緊張緩和による景況感の改善などを背景に、株価は2019年末から年明けにかけて上昇しました。

しかし、その後は新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う経済活動制限の動きが世界的に広がったことで、株価は急落しました。

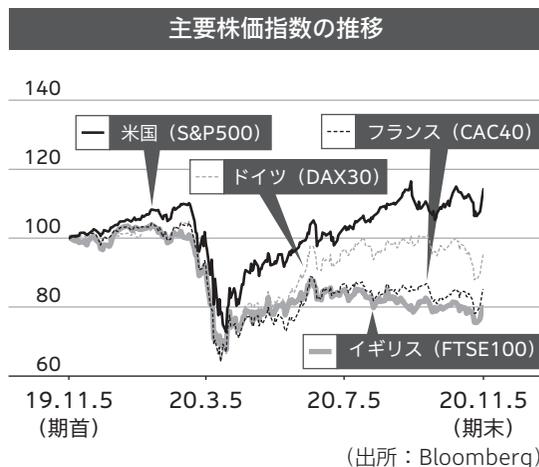
その後、大規模な金融・財政政策による景気刺激策や新型コロナウイルス対策の治療薬の開発の進展を背景に株価は上昇に転じ、期末にかけても好調なハイテク株を中心に株式市場は堅調に推移して、期を通じては、株価は上昇しました。

### ○欧州株式市場

欧州株式市場は下落しました。

期初は米中貿易戦争の緊張緩和やグローバルな景況感回復への期待を背景に上昇しました。しかし、2020年年明け以降は新型コロナウイルスの感染拡大による企業の活動制限や都市封鎖による大幅な景気悪化を受けて株価は急落しました。

その後は大規模な金融政策や欧州域内の各国を跨ぐ復興基金の創設などの景気刺激策への期待から株価は上昇に転じたものの、期末にかけて感染の再拡大により再び経済封鎖の動きがでるなど見通しの不透明感が高まり、期を通じては、株価は下落しました。



注. 期首を100として、委託会社にて指数化したものを使用しております。

## ○アジア株式市場

アジア株式市場は下落しました。

米中貿易協議の第一段階の合意により景況感の好転への期待感が高まり、2019年末から年明けにかけて株価は上昇しました。

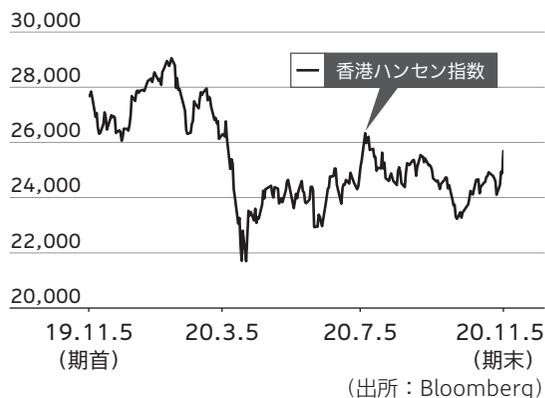
しかし、新型コロナウイルスの感染拡大により世界的に経済活動が制限に至ったことで株価は大きく下落しました。その後は大規模な金融緩和と財政支援策の実施や、東アジアを中心に経済活動制限の解除が進むにつれて経済指標も改善を示したことで株価は徐々に回復したものの、多くの新興国では感染拡大が長期化し株価の上値が重く、期を通じては、株価は下落しました。

## ○為替市場

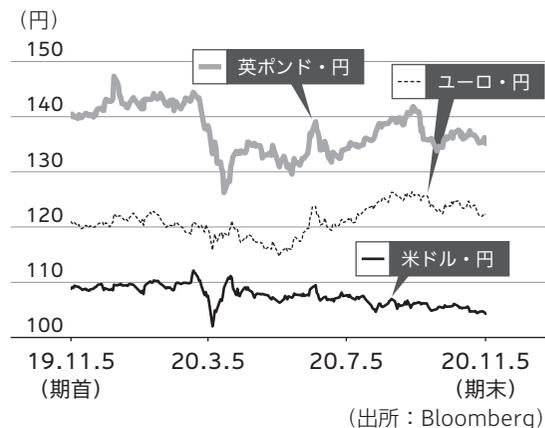
当期の米ドル円市場は円高ドル安となりました。期初に109円近傍であったドル円相場は、新型コロナウイルスの感染拡大とそれに伴う経済活動の大幅な制限によりリスクオフの展開となり、経済対策としてのFRB（米連邦準備理事会）の利下げを含む大規模な金融政策、および財政支援策の実施による財政支出の拡大を背景に円高ドル安が進み、期末には104円台となりました。

当期のユーロ円相場は新型コロナウイルスの感染拡大に対する欧州の相対的な景気回復の速さなどを背景に、ユーロ高円安となりました。

### 主要株価指数の推移



### 為替レートの推移



注. 為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

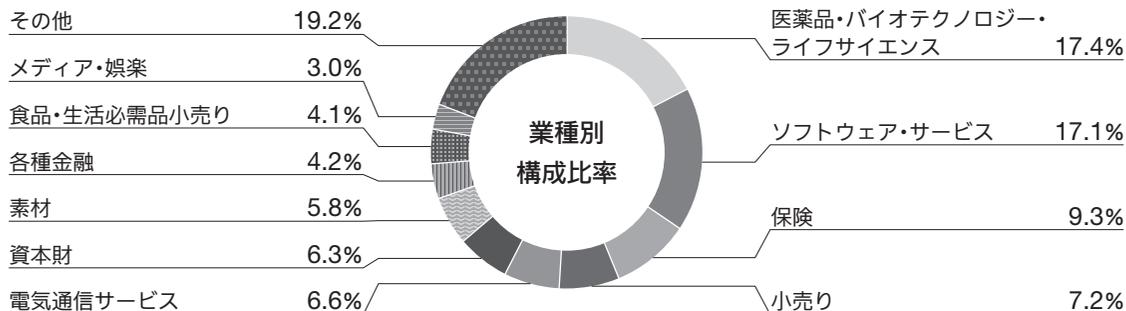
## ● 当該投資信託のポートフォリオ

期を通して、SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。

### SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率（対純資産総額比）は、94.1%です。

ポートフォリオは弊社独自の投資価値分析に基づく相対的割安度の高い銘柄を中心に、ベンチマークと比較してリスク水準を抑えたポートフォリオ構築を継続しました。



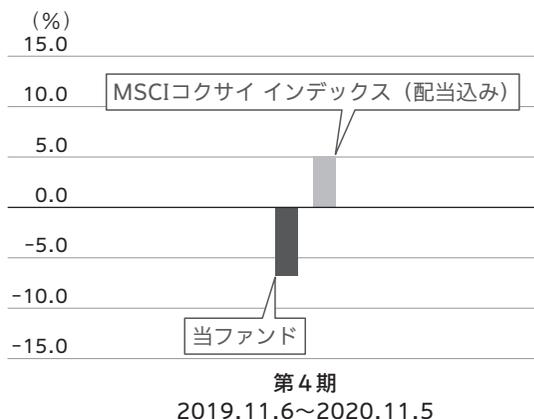
注1．比率は、第4期末における外国株式の評価総額に対する各業種の評価額の割合。

注2．端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

## ● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドの騰落率（分配金再投資基準価額ベース）は、ベンチマーク（MSCIコクサイインデックス（配当込み））の騰落率（+5.1%）を11.9%下回りました。当ファンドは期を通じて「SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド」を高位に組み入れていましたので、以下ではマザーファンドとベンチマークとの差異の要因分析についてご説明いたします。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



### SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（配当込み））の騰落率（+5.1%）を10.9%下回りました。

個別銘柄においてExxon Mobil（米国・エネルギー）やBoeing（米国・資本財）のアンダーウェイトなどがプラス要因となったものの、Carnival（米国・一般消費材）のアンダーウェイトやTelefonica（スペイン・コミュニケーションサービス）のオーバーウェイトなどがマイナス要因となりました。

## ● 分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、当期は分配を行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第4期 2019.11.6~2020.11.5
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,215

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

## ● 今後の運用方針

### SOMPO外国株式アクティブバリューファンド（リスク抑制型）

今後の運用においても、マザーファンド受益証券の組入水準を高位に維持することで、着実な成長と安定した収益の確保を目指します。

### SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

今後の運用においても、当社の投資哲学に基づいた運用プロセスを堅持し、独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度の高い銘柄を中心に、ベンチマークと比較してリスク水準を抑えたポートフォリオ構築を継続します。

## ● お知らせ

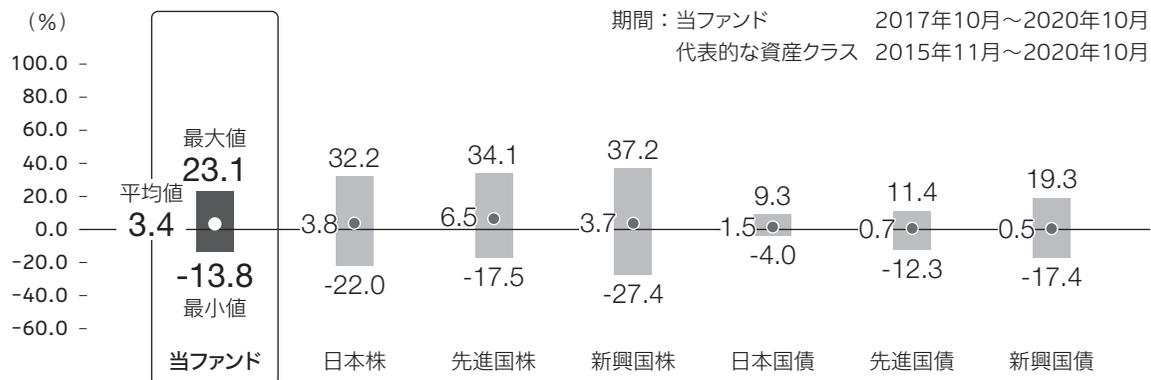
2020年4月1日の委託者の名称等変更に伴い、委託者名および電子公告の掲載アドレスが変更となるため、信託約款に所要の変更を行いました（2020年4月1日）。

## ● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	 SOMPO外国株式アクティブバリューファンド（リスク抑制型） SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド受益証券  SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド 日本を除く世界各国の株式
運用方法	① SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を除く世界各国の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ② 銘柄選定にあたっては、当社が独自に開発した外国株式評価モデルにより算出した投資価値と市場価値とを比較した相対的割安度を測定します。 ③ 相対的割安度の高い銘柄を中心に、ベンチマークであるMSCIコクサイ インデックス（配当込み）と比較してリスク水準を抑えたポートフォリオを構築し、中長期的にベンチマークを上回る運用成果を目指します。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

## ● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

① 当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご注意ください。



\* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

### \* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は17～18ページをご参照ください。

# 当該投資信託のデータ

## ● 当該投資信託の組入資産の内容

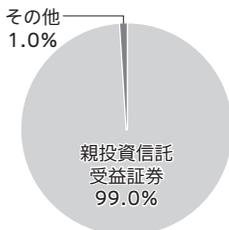
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 組入ファンド

	第4期末 2020.11.5
SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド	99.0%

注. 比率は第4期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



注. 比率は第4期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

## ● 純資産等

項目	第4期末 2020.11.5
純資産総額	50,052,146円
受益権総口数	39,897,412口
1万口当たり基準価額	12,545円

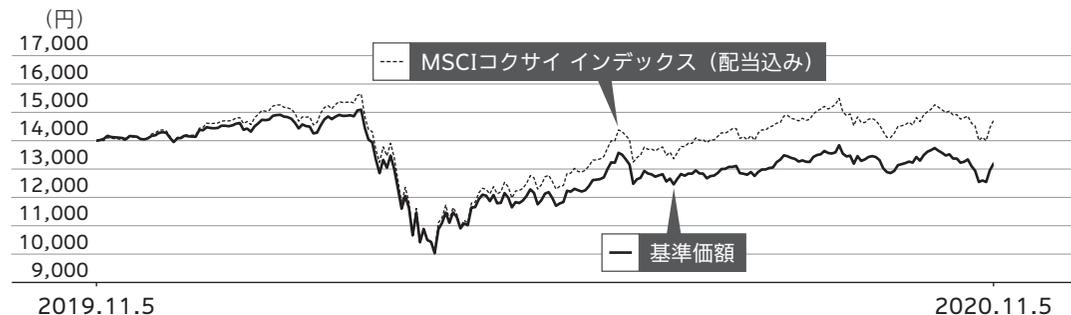
※ 当期中における追加設定元本額は21,108,954円、同解約元本額は120,030,652円です。

## ● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### 🏠 SOMPO外国株式アクティブバリュー（リスク抑制型）マザーファンド

#### 基準価額の推移



- ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（配当込み））の推移は、2019年11月5日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

#### 1万口当たりの費用明細

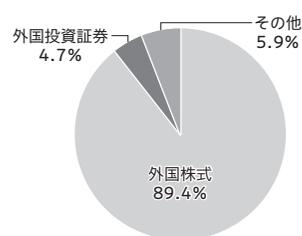
項目	2019.11.6～2020.11.5	
	金額	比率
売買委託手数料	20円	0.150%
（株式）	(19)	(0.141)
（投資信託証券）	(1)	(0.009)
有価証券取引税	4	0.032
（株式）	(4)	(0.031)
（投資信託証券）	(0)	(0.001)
その他費用	31	0.234
（保管費用）	(31)	(0.233)
（その他）	(0)	(0.001)
<b>合計</b>	<b>55</b>	<b>0.416</b>

期中の平均基準価額は13,156円です。

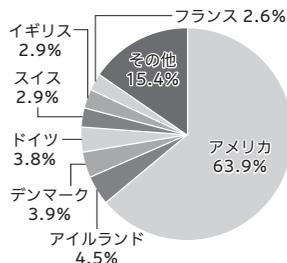
## 組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率	
1 JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカ・ドル	アメリカ	3.0%	
2 ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	スイス・フラン	スイス	2.9%	
3 NOVO NORDISK A/S-B	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	デンマーク・クローネ	デンマーク	2.9%	
4 ACCENTURE PLC-CL A	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アイルランド	2.8%	
5 VERIZON COMMUNICATIONS	電気通信サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.4%	
6 S&P GLOBAL INC	各種金融	アメリカ・ドル	アメリカ	2.4%	
7 COLGATE-PALMOLIVE CO	家庭用品・パーソナル用品	アメリカ・ドル	アメリカ	2.2%	
8 BRISTOL-MYERS SQUIBB CO	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.2%	
9 FERGUSON PLC	資本財	イギリス・ポンド	ジャージー	2.2%	
10 PPG INDUSTRIES INC	素材	アメリカ・ドル	アメリカ	2.1%	
組入銘柄数		84銘柄			

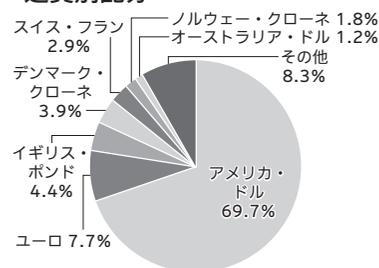
## 資産別配分



## 国別配分



## 通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については3ページ(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2020年11月5日)現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

## ● 指数に関して

### 当ファンドのベンチマークである「MSCIコクサイ インデックス（配当込み）」について

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

### 「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

#### ■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年1月4日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### ■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

#### ■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

### ■ NOMURA-BPI国債

野村証券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村証券株式会社に帰属します。野村証券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

### ■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

SOMPO外国株式アクティブバリューファンド（リスク抑制型）

検索

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0979/price.html>

SOMPOアセットマネジメント | ENGLISH | SOMPOホールディングス

文字サイズ 大 中 小

HOME > ファンド情報 > SOMPO外国株式アクティブバリューファンド（リスク抑制型）

追加型投信 / 海外 / 株式

SOMPO外国株式アクティブバリューファンド（リスク抑制型）

日本経済新聞掲載名：外株バリュー

交	交付目論見書 (2020.08.04)	運交	交付運用報告書 (2019.11.05)	休	海外休業日（申込不可日） 2020年
請	請求目論見書 (2020.08.04)	運全	運用報告書（全体版） (2019.11.05)		
		月	最新月次レポート (2020.10.30)		

ピックアップファンド

① 交付運用報告書・運用報告書（全体版）バックナンバー

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

### 交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

### 交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

### 海外休業日 （申込不可日）

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

### 請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

### 運用報告書（全体版）

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

月

### 最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。